

第23回 JPHMA コングレス 「ZEN ホメオパシーで危機を乗り越える」 学術演題申込要領

(開催日:2022年10月15日(土)~16日(日) CHhom 東京校ライブ、オンライン配信で開催)

(1) 演題申込資格

JPHMA 認定会員、JPHMA 専門会員、JPHMA 認定校 (CHhom 学生)

但し、発表者および共同研究者は、広くホメオパシーに関係されている方のご応募も可能です。ただし、演題内容は審査の上、採否を連絡させていただきます。

(2) 研究分野 ※新しい分類に変更になっています

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| ①アレルギー・アトピー・皮膚疾患 | ②メンタルヘルス、インナーチャイルドなど心の問題 |
| ③医療、薬剤、注射等からの影響 (医原病) | ④老い、痛みへのケア・ターミナルケア、ロスカケア |
| ⑤癌・膠原病・免疫疾患・難病 | ⑥慢性病対処、遺伝的な傾向からくる疾患 (マヤズム) |
| ⑦農業、動物、植物、菌などへの応用 | ⑧妊娠・出産・女性の症状、前立腺など男性の症状 |
| ⑨親子、子育ての問題・子ども身近な症状 | ⑩発達障害 (自閉、多動、癲癇他)、障害対応 |
| ⑪歯の問題、食 (食原病) | ⑫エネルギー医学 (SCIO)、霊性、水のメディア |
| ⑬化学物質過敏症など環境原因病 | ⑭セルフケア、家庭用キット普及、医療費削減 |
| ⑮急性症状、事故、怪我、災害への対処 | ⑯新型コロナウイルス感染症、同ワクチン副作用、シェディング |
| ⑰放射能、電磁波などからの影響 | ⑱他療法との連携含む ZEN ホメオパシーに関わる症例 |

(3) 演題発表者へのお願い

- ・演題の申込みは、原則 E-MAIL のみです。(※事務局までご相談ください)
- ・原稿は Microsoft Word で作成し、原稿文字数は、演題、発表者・共同研究者の氏名、所属、**要約 (簡潔に全体の内容がわかるように今年から追加)** 本文合わせて 2500 字以内。(写真・表など載せて頂いても結構です)
- Mac でデータを作成される場合、Windows の Word で開ける形式でデータを作成ください。
- ・今年度も昨年同様、演題を論文形式に合わせてまとめ頂くようお願い致します。
本文には、【目的あるいは主訴(症状)】【経緯あるいはタイムライン】【手法あるいはレメディー選択】【結果】【考察】を必ず記入してください。(※後述「演題様式」参照)
- ・演題のタイトルは、どのような内容の学術演題であるか、要点が伝わりやすい演題名を付けていただきますようお願いいたします。ご提出後、こちらで修正を行う場合がございます。
- ・申込み先：JPHMA コングレス事務局 (アドレス) congress@homoeopathy.ac
学術演題を送付された E-mail アドレスへ、事務局より採択通知等の返信・連絡を行います。
確実に連絡をとる事ができる E-mail アドレスをお使い願います。
- ・コンGRESS終了後、学術論文集の作成も予定しております。尚、論文集への掲載は、別途お申込みが必要です。詳しくは「学術論文の募集について」を参照ください。

(4) 申込み締め切り ・発表申込み締め切り：**2022.8.31 (水) 24 : 00**

・原稿の締め切り： 同上

※提出が遅れる場合、発表を予定している「ケースのタイトル」を先に事務局に連絡し登録ください。

(5) 発表取消、変更

2022年9月10日(土)までに、JPHMA コングレス事務局までメールか FAX にてご連絡下さい。

(6) 審査

JPHMA 研究発表委員会で審査し、採択の可否を決定します。発表形式として

1)口演：1 演題につき発表 5～15 分の予定。

2)示説(ポスターセッション)：ポスター発表を当日は実施せず(発表数に応じて公開方法検討予定)

(7) 採択通知および発表時間通知

審査結果と採択通知および発表時間を 2022年9月下旬までに通知いたします。発表形式につきましては、採択決定後、個別に連絡致します。

(8) 学術演題が採択された方には、コンGRESS終了後に JPHMA ポイントを付与いたします

演台発表 (10～15 分発表) 2 ポイント → 3 ポイント

演台発表 (5 分発表)、ポスター発表・掲示 1 ポイント → 2 ポイント

学術演題の提出 → 1 ポイント

※複数のケースをご提出いただきましても、1 ケース分のポイント付与となります。

以上※演題様式

【目的ならびに主訴(症状)】・・・今回のケースを発表しようと思った経緯、動機等を記入。

書籍や他の論文を引用してまとめるのも可能。その場合、【考察】の後に参考文献として書籍等を記載する。また、クライアントの年齢や性別、主症状などもここに記入。

【経緯あるいはタイムライン】【手法あるいはレメディー選択】・・・クライアントの大まかなタイムラインと今回の主なレメディーの形式(液体、砂糖玉、LM等)や臓器サポートや食事療法等を併用した等を記入。また、レメディーの使用期間、間隔(朝・夜等)等記入

【結果】・・・どのようなレメディーをどのように(TBR等)選び、どのように改善したかを記入。

【考察】・・・結果が導かれた理由等を考察する。

(9)発表のタイトル予定

発表したいケースがある方は、原稿の提出までに予定とするタイトルだけでも先に事務局までお知らせいただくことが可能でしたら、情報をお送りいただきますようお願いいたします。演題のタイトルは、短くまとめるようにお願いします。以下、Fax いただいても結構ですし、メールでも構いません。

発表予定のケースタイトル	備考 提出時期など
お名前・卒業期 (期)	連絡先 — —